

日本薬剤学会 第33年会

The 33rd Annual Meeting The Academy of
Pharmaceutical Science and Technology, Japan

患者ベネフィットに貢献するサステナブル薬剤学

■ 特別講演

渡邊裕司 先生(浜松医科大学)
Henk Mollee 先生
(Astellas Pharma Europe BV)

■ 招待講演

東田陽博 先生(金沢大学)
Gregory Amidon 先生
(University of Michigan)

■ 学術シンポジウム 1

「ユニバーサルデザインと製剤開発」

■ 学術シンポジウム 2

「微粒子製剤設計と医薬品開発
～現状と将来展望～」

■ 学術シンポジウム 3

「ポリファーマシー(多剤服用)について考える」

■ 学術シンポジウム 4

「次世代ワクチン・免疫療法開発における創薬・
創剤研究」

■ 学術シンポジウム 5

「口腔内崩壊錠 ―潮流・技術と展望―」

■ 特別企画シンポジウム 1

日本薬学会と日本薬剤学会との融合
「次世代創薬 ”核酸医薬” イノベーション」

■ 特別企画シンポジウム 2

日本医療薬学会と日本薬剤学会との融合
「医療現場で必要とされる実践的製剤の設計
と機能性評価」

■ 特別企画シンポジウム 3

「最近の中国の製薬関連情報」

■ 薬学教育シンポジウム

「次世代の薬剤学教員を求む」

■ 医薬品包装シンポジウム

「サステナブル社会の実現に向け医薬品包装が
直面している課題
～偽薬／流通／アドヒアランス～」

■ 学生主催シンポジウム SNPEE2018

■ ラウンドテーブルセッション 1

「薬剤学と化粧品科学の相乗的な発展を考える」

■ ラウンドテーブルセッション 2

「製剤処方検討に最適な実験動物を考える
～Dog or other animals?」

■ ラウンドテーブルセッション 3

「経口吸収研究の未来予想図
～Keep Running & Challenging～」

■ ラウンドテーブルセッション 4

「核酸・遺伝子医薬の実用化を加速する
レギュラトリーサイエンスとデリバリー戦略に
ついて考える」

■ ラウンドテーブルセッション 5

「溶けたらいいものではない!
難水溶性薬物の経口吸収改善を確実に
達成するための製剤設計と吸収予測」

■ ラウンドテーブルセッション 6

「薬物相互作用・個別化医療FGの今後を問う
ーフォーカスグループへの期待と課題」



会期:2018年5月30日(水)、31日(木)、6月1日(金)
場所:静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

年会長:並木徳之(静岡県立大学薬学部 教授)

HP:<http://www.knt.co.jp/ec/2018/apstj33/>

▶ 一般演題登録受付期間

2018年1月5日(金)～3月15日(木)

運営準備室:近畿日本ツーリスト北海道 北海道DM支店 MICEセンター
〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目通札幌ビル6階
Tel:011-280-8855 Fax:011-251-2288
E-mail:s-convention-1@or.knt-h.co.jp

▶ 事前参加登録受付期間

2018年1月5日(金)～4月20日(金)

年会事務局:静岡県立大学薬学部実践薬学分野
〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1
TEL/FAX 054-264-5234



公益社団法人 日本薬剤学会